

2020 東京オリンピックで
日本選手の名前を
日本流に！

- 皆さんは、テレビ画面に映し出されるオリンピックの選手の名前に注目したことはありませんか？

日本を代表して出場する選手の名前のローマ字表記は、西洋流に、名前が先で、姓が後になっています。でも、東洋の中国や韓国の選手名は、姓が先で、名前が後になっています。

(例) 平昌五輪 スピードスケート女子 500M

金 小平 奈緒 さん Nao Kodaira

銀 李 相花 さん Lee Sang-Hwa

- 日本では、明治以降の日本の近代化の過程で、西洋人に誤解を受けないようにこうしたやり方が編み出されたと言われてしています。

しかし、元来、名前の表記は、各々の人名固有の形式が生きる形で記述されることが望ましいといえます。我が国でも、平成 12 年の第 22 期国語審議会答申で、「日本人の姓名については、ローマ字表記においても「姓一名」の順とすることが望ましい。」とされています。

- この度、日本の首都東京でオリンピックが開催されることは、とても喜ばしいことです。是非とも、この機会に、日本人選手の名前を日本流に表記するようにお願いしたいと思います。

(参考 1)

○ TV 放映画像の例 (日本は「名一姓」、韓国は「姓一名」)



但し、会場の電光掲示板の例 (全て「姓一名」)



○ 平昌オリンピック関係の記事から

Winter Olympics: Nao Kodaira denies Lee Sang-hwa third straight women's 500m speed skating gold (BBC の HP から)

Gold medalist Nao Kodaira comforts Lee Sang-Hwa, the runner-up in the women's 500 meters speedskating race (The Washington Post の HP から)

(参考 2)

- 日本サッカー協会 (JFA) では、
2012 年 4 月 1 日より、日本人名のローマ字表記順を原則として
次のように「姓一名順」に統一していくことになりました。

＜名－姓順＞ Junji Ogura

↓

＜姓－名順＞ OGURA Junji

- 日本の英語の教科書では、
 - ・ 1889 年の日本最初の英語の教科書は、「姓一名」でした。
 - ・ 1904 年頃から、「名－姓」の表記が現れ、その後、徐々に主流になったようです。
 - ・ 1987 年に、三省堂の New Crown が「姓一名」表記を取り入れ、その後、徐々に増えていきました。
 - ・ 2000 年の国語審議会の答申を受けて、2002 年度から、中学校英語教科書の全てで、「姓一名」となりました。

- 西洋においても、
 - ・ 日本人の名前でも、明治より前の歴史上の人名は、「姓一名」の順に表記されるのが一般的とされています。
 - ・ 1990 年代から、日本文学の翻訳の出版に当たっては、著者名などを「姓一名」の順に表記するところがあるようです。

- 日本流に表記する場合の方法について、平成 12 年の国語審議会では、従来の慣習に基づく誤解を防ぐために、

YAMADA Haruo

Yamada, Haruo

の 2 種類が提示されています。

(参考 3)

「国際社会に対応する日本語の在り方」

(平成 12 年 12 月 8 日国語審議会答申)

「姓名のローマ字表記についての考え方」

世界の人々の名前の形式は、「名－姓」のもの、「姓－名」のもの、「名」のみのもの、自分の「名」と親の「名」を並べて個人の名称とするものなど多様であり、それぞれが使われる社会の文化や歴史を背景として成立したものである。世界の中で、日本のほか、中国、韓国、ベトナムなどアジアの数か国と、欧米ではハンガリーで「姓－名」の形式が用いられている。

国際交流の機会の拡大に伴い、異なる国の人同士が姓名を紹介し合う機会は増大しつつあると考えられる。また、先に記したように、現在では英語が世界の共通語として情報交流を担う機能を果たしつつあり、それに伴って各国の人名を英文の中にローマ字で書き表すことが増えていくと考えられる。国語審議会としては、人類の持つ言語や文化の多様性を人類全体が意識し、生かしていくべきであるという立場から、そのような際に、一定の書式に従って書かれる名簿や書類などは別として、一般的には各々の人名固有の形式が生きる形で紹介・記述されることが望ましいと考える。

したがって、日本人の姓名については、ローマ字表記においても「姓－名」の順（例えば Yamada Haruo）とすることが望ましい。なお、従来の慣習に基づく誤解を防ぐために、姓をすべて大文字とする（YAMADA Haruo）、姓と名の間にコンマを打つ（Yamada, Haruo）などの方法で、「姓－名」の構造を示すことも考えられよう。今後、官公庁や報道機関等において、日本人の姓名をローマ字で表記する場合、並びに学校教育における英語等の指導においても、以上の趣旨が生かされることを希望する。

(参考 4)

「日本人名のローマ字表記について」(2012年04月01日 JFA)

公益財団法人 日本サッカー協会（以下、JFA）では、2012年度（4月1日）より、日本人名のローマ字表記順を原則として「姓一名順」に統一していくことになりましたのでお知らせいたします。

JFAとしては、これまでローマ字表記について特に明文化された規定はなく、現在日本で一般的となっている「名一姓順」が使用されているケースが大半でした。世界のグローバル化が進む中、JFAとして個性が顕著に表れる「名前」において、日本人固有の表記順（姓一名）で、世界へアピールしていきたいという考えのもと、この度表記を統一することになりました。

今後は、各都道府県サッカー協会や各連盟にも協力を仰ぎ、公式文書や試合記録、職員の名刺等、対応可能なものより順次採用していく予定です。

表記例

<名一姓順> Junji Ogura

↓

<姓一名順> OGURA Junji

※ 今回の統一に合わせ、これまでの慣習による誤解を避けるため、苗字はすべて大文字で表記します。

※ ただし、すでに一定の書式に基づいて作成されている書類やシステムについては、それに倣います。